

瀬上沢スタディツアーリポート

2023年6月5日（月）に横浜国立大学の留学生15名を引率して瀬上沢のホタルを観賞してきました。夜空に飛び交う多くのホタルを見ることができ、留学生たちも感激しておりました。なかには故郷のホタルを懐かしく思い出した学生もいたようです。留学生の出身国は、ウガンダ、ガーナ、ザンビア、スーダン、ソマリア、南スーダン、バングラデシュなどさまざまですが、ホタルは意外と世界のあちこちでみることができるようです。

スタディツアーリポートに参加した留学生は、横浜国大の大学院で地方自治について学んでおり、授業では上郷開発の経緯と市民によるホタル保全活動について事前学習を行いました。ホタルのふるさと瀬上沢基金の角田東一理事長には、基金のホームページの資料の利用についてご快諾いただき感謝申し上げます。

小池 治（横浜国立大学名誉教授）



国際色豊かな留学生 港南台駅前にて